

JCHO
東京新宿
メディカルセンター
附属看護専門学校



開校 60 年の歴史をもつ看護専門学校です

沿革

昭和33年	4月	東京厚生年金看護学院として開校。3年課程、1学年定員20名
昭和53年	10月	専修学校に認可され、東京厚生年金看護専門学校と改称
昭和55年	4月	1学年定員40名に増員
昭和55年	7月	現在の校舎に移転
平成 8年	4月	男子学生の入学開始
平成 9年	12月	社会人特別選考入学試験制度導入
平成26年	4月	設置主体変更により、学校名を JCHO東京新宿メディカルセンター附属看護専門学校と改称

『学ぶ喜び』に支えられた教育環境の中で、人の心に深く寄り添え、考えることのできる看護実践者を目指す

本校は、専門職業人として、人間に対する理解を深め、豊かな感性と調和のとれた人間性を養い、人の心に深く寄り添え、考えることのできる看護実践者の育成を図ることを第一の目的としています。

今後、少子高齢化の進展により、人々の医療や看護に対するニーズは更に多様化、複雑化します。本校では、変化する社会の情勢に対応できるよう、最先端の医療情報を教育内容に取り入れ、また臨床の現場で出会う諸問題を学習できるよう工夫をしています。

特に、教育計画の1/3にあたる臨地実習では、併設病院と連携し、指導体制が整った中で着実に看護実践力を養うことができます。

また、1学年40名と少人数制であるメリットを最大限活用し、習熟度に応じたきめ細やかな指導ができることが強みです。学生一人ひとりの個性を尊重し、自律した学習者として主体的な学びができるよう支援します。

さらに、本校の学生は、高等学校を卒業後の学生だけでなく、看護とは異なる学問を大学で学んできた学生、社会人経験を積んできた学生も多数います。同じ目標に向かって学生同士が互いに知的刺激源となり、問題を自ら発見し、考える楽しさ、知る楽しさを味わうことができることでしょう。

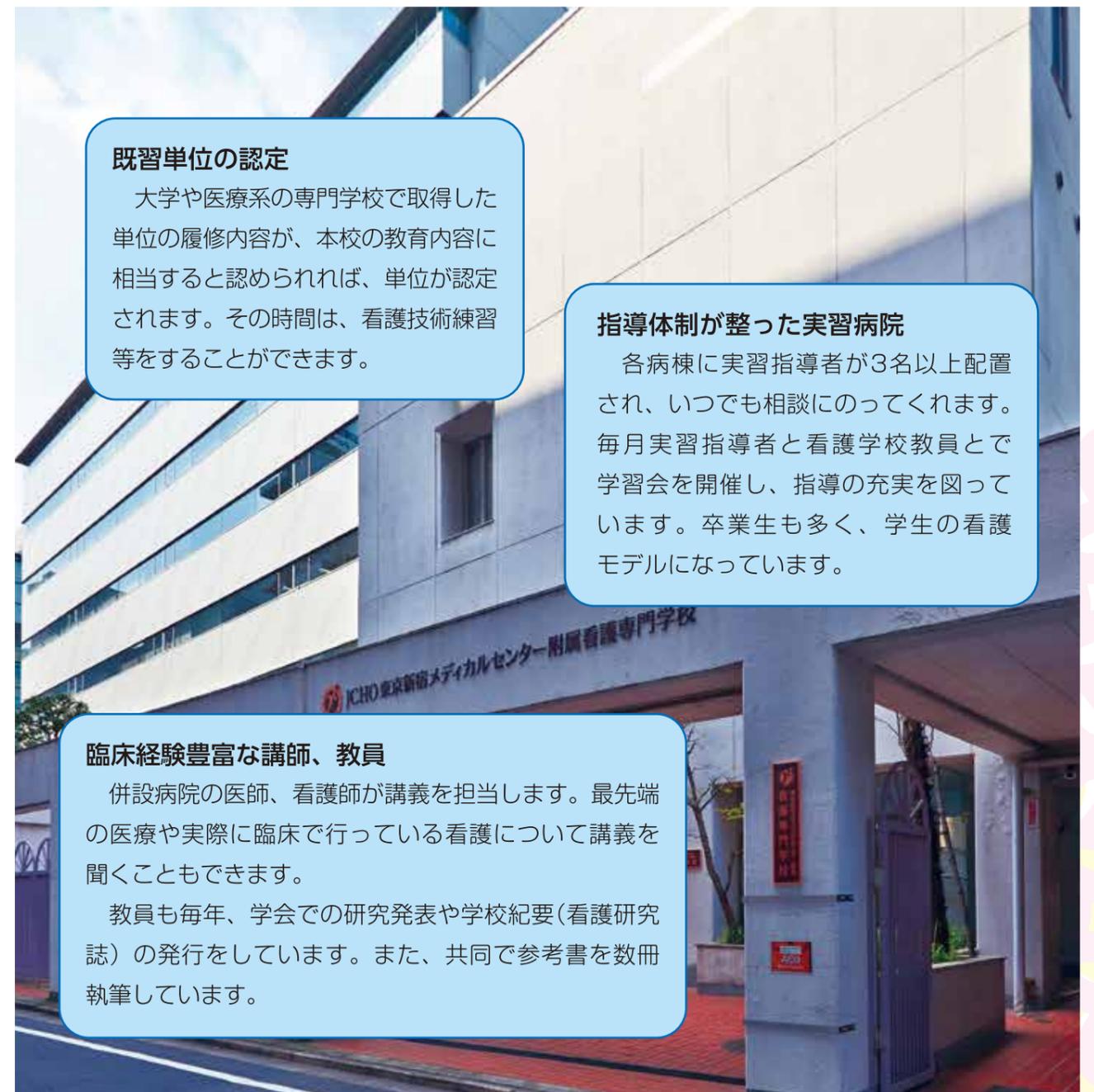
『学ぶ喜び』に支えられた教育環境の中で、専門職としての自覚をもち、真摯に看護を学び、真心こめた看護を実践できる人材が育っていくことを望んでいます。



学校長
関根 信夫

教育理念

看護は生命の尊厳、人間尊重に基づいて行われるものであり、人間関係のプロセスを基盤として、あらゆる健康レベルにある人が、もてる力を最大限に発揮できるよう生活を整えることである。この考えに基づき、人間に対する理解を深め、誠実で豊かな人間性を養うとともに、科学的思考と問題解決能力を養い、保健医療福祉システムの中で、専門的役割を果たす看護実践者を育成する。



既習単位の認定

大学や医療系の専門学校で取得した単位の履修内容が、本校の教育内容に相当すると認められれば、単位が認定されます。その時間は、看護技術練習等を行うことができます。

指導体制が整った実習病院

各病棟に実習指導者が3名以上配置され、いつでも相談にのってくれます。毎月実習指導者と看護学校教員とで学習会を開催し、指導の充実を図っています。卒業生も多く、学生の看護モデルになっています。

臨床経験豊富な講師、教員

併設病院の医師、看護師が講義を担当します。最先端の医療や実際に臨床で行っている看護について講義を聞くこともできます。

教員も毎年、学会での研究発表や学校紀要(看護研究誌)の発行をしています。また、共同で参考書を数冊執筆しています。

私たちの学校を紹介します。



少人数制

クラスメイトとすぐに仲良くなり、なにをするにも一丸となれます。また、教員からのサポートも受けやすく、クラスメイトもお互いに助け合うことができます。「人数が多いが目立たなくて楽かな？」と聞いていたが、今は少人数制で良かったと思っています。(2年生)



本校は1学年が40名、全校生徒で120名です。学年の垣根を越えて学生間が交流しやすい雰囲気があり、様々なことを先輩に相談することができます。教員との距離も近く、学習面だけでなく精神面においても支援できるように取り組んでいます。



ひとりで悩まないで ~学生相談室~

月に3回学生相談室を開設しています。実習や学校生活で悩んだとき、カウンセラーの先生と一緒に解決策を考えてくれます。

幅広い学生

28歳で、仕事を辞めて新たな業種に挑戦することは抵抗がありました。今は看護を学び、看護師になりたいとより強く感じるようになりました。背景が違って、同じ目標を持つ仲間がいるから頑張れます！(2年生)



高校卒業後すぐに入学し、社会人もいるクラスに溶け込めるか不安でした。今は色々な経験のあるクラスメイトと共に学ぶことができるのはとても貴重なことだと思うし、とても勉強になります。向上意欲の高いクラスメイトとともに学び、改めて「看護師の仕事ってイイかも！」と思っています。(2年生)

看護職の社会的ニーズの高まりに伴い、様々な生活背景をもつ学生が看護師を志望し、本校に在籍しています。10代だけでなく、20代や30代の学生も在籍しており、それぞれの経験を活かし学業に励んでいます。

男子学生も在籍しており、同じ志を持つクラスメイトや先輩とともに頑張っています。男性教員は2名おり、男子学生の良き相談相手となっています。

実習環境

ほとんどの実習科目を1つの病院で行えるし、学校と病院が近いのでとっても便利！

指導者さんは、学生の意見を聞いた上で、熱心に指導してくれます。医師もレントゲンの見方などを教えてくれるのでわかりやすいです。実習病院は卒業生が多く、親しみをもって話しかけてくれるので安心して実習できています。(3年生)

臨地実習はカリキュラムの3分の1を占めるため、実習環境はとても大切です。本校は実習病院の附属であるため、病院との連携は密に行っており、学生が安心して実習できる環境です。卒業後は実習病院への就職ができます。

実習病院について詳しくは P.9 へ



国家試験対策



学年の習熟度に応じた国家試験対策や、学生1人1人の必要性に応じた個別な学習を支援を行っています。そのため、国家試験合格率は高い合格率を維持しています。

※合格率の詳細はHPをご参照ください。



学年別国家試験対策

1年生

1. 学習の定着化を図る
日々の学習が定着するように学習環境の提供やアドバイスを行っています。
2. 系統的な知識の獲得を図る
看護の知識や技術を論理的に理解できるように支援しています。

2年生

1. 学生自身が実力と傾向を知る
模試の結果から自己分析を行い、自分の傾向や弱点を知ることができます。
2. 自己学習方法を身につける
1問1答ではない応用できる知識を身につけられるように個別で支援しています。

3年生

1. 様々な問題に対応できる
様々な形態の問題に対応できる力を身につけます。
2. 国家試験合格を目指す
夏期・冬期特別講義を開講し、国家試験合格に向けた学力アップを目指します。

カリキュラム

～看護の基本である「人間を理解する」ための段階的カリキュラム～

質の高い専門的知識と技術を習得することはもちろん、人間性豊かになる広範な知識を吸収し、総合的なものの見方や幅広い考え方を学びとることができるよう、カリキュラムを考えています。

1年目は、看護師になるために大切な一般教養と看護のための基礎知識を学びます。

2年目、3年目になると、より専門的な看護の知識を深め、臨床現場で求められる知識と技術を習得します。



基礎

1

基礎分野 人間性を育む一般教養

看護師を目指すための第一歩です。科学的に考える方法を身につけること、そして、人との関わりによって成り立つ社会を、より広い視野をもって理解できるように科目を設定しています。



科目名	単位
哲学	1
文章表現法	1
情報科学	1
心理学	1
人間関係論	1
教育学	1
社会学	1
生物学	1
外国語(基礎・医学・看護)	3
保健体育	1
音楽	1

2

専門基礎分野 看護の基礎知識

人体の構造と機能を知り、病気の成り立ちと回復促進を関連付ける学習をします。消化器や呼吸器などの器官系統別に、病気の変化を知り、検査や治療についての知識を学びます。



科目名	単位
解剖生理学Ⅰ～Ⅲ	3
生化学	1
疾病論Ⅰ・Ⅱ	2
治療論Ⅰ～Ⅶ	7
薬理学	1
栄養学	1
医療概論Ⅰ・Ⅱ	2
公衆衛生Ⅰ・Ⅱ	2
社会福祉	1
看護関係法規	1

分かるって楽しい!



専門

3

専門分野Ⅰ 看護の基礎技術

患者を理解し、状態に応じた看護を実施するための基礎的な技術を、座学と校内演習によって学びます。

次の段階の実践的な学習の基礎になる技術です。



科目名	単位
看護学概論	1
基礎看護技術Ⅰ～Ⅶ	7
看護研究Ⅰ・Ⅱ	2
基礎看護学実習Ⅰ	1
基礎看護学実習Ⅱ	2

4

専門分野Ⅱ 患者に応じた看護の知識と技術

小児、成人、老年など発達段階別に理解を深め、より実践的な知識を習得します。

そして、校内演習や病棟での実習によって、患者に応じた看護の習得を目指します。



科目名	単位
成人看護学概論	1
成人臨床看護Ⅰ～Ⅴ	5
老年看護学概論	1
老年臨床看護Ⅰ～Ⅲ	3
小児看護学概論	1
小児臨床看護Ⅰ～Ⅲ	3
母性看護学概論	1
母性臨床看護Ⅰ～Ⅲ	3
精神看護学概論	1
精神保健	1
精神臨床看護Ⅰ・Ⅱ	2
成人看護学実習Ⅰ～Ⅲ	6
老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ	4
小児看護学実習	2
母性看護学実習	2
精神看護学実習	2

5

統合分野 幅広い場に応じた看護実践

これまでに学習した様々な知識・技術を統合します。状況に応じた看護を自ら考え、実践できる看護者を育成します。

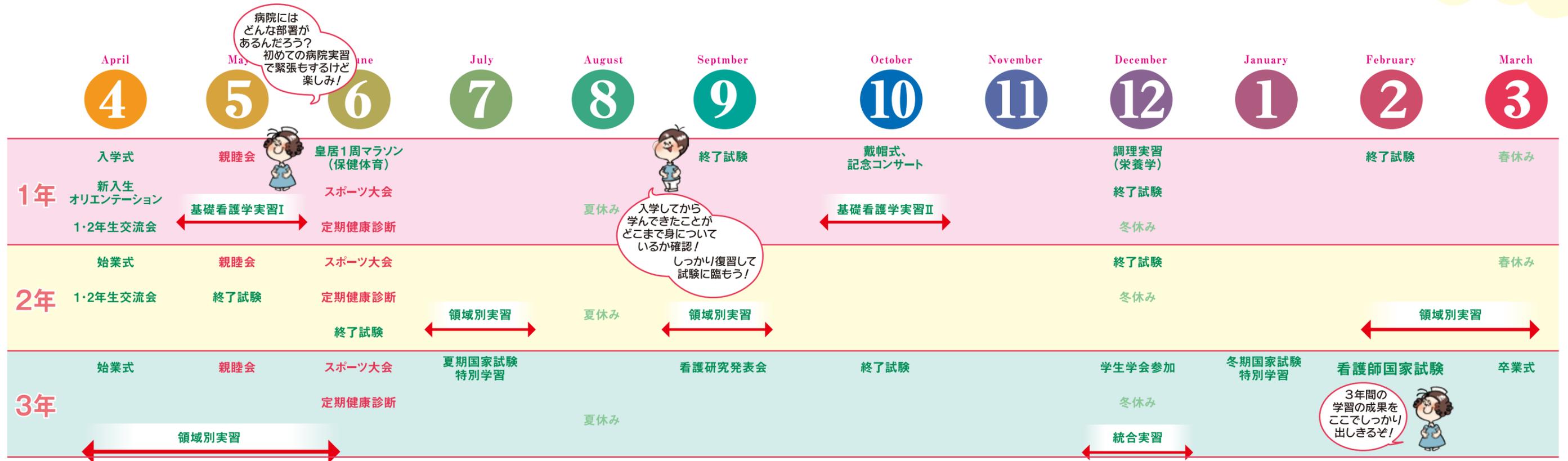
そして、臨床現場へスムーズに適應できるよう準備します。



科目名	単位
在宅看護概論	1
在宅援助論Ⅰ～Ⅲ	3
統合看護Ⅰ～Ⅲ	3
看護技術統合演習	1
在宅看護論実習	2
統合看護実習	2

3年間の学校生活

様々な行事や活動を通して、実りある学生生活を送っています！



Aさんの1日の生活



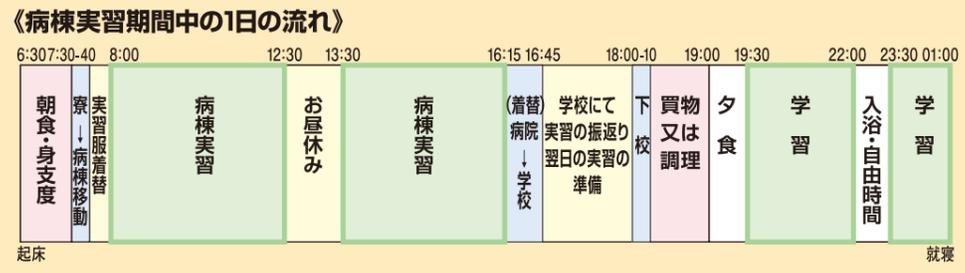
入学当初は勉強量の多さに、育児と両立できるか不安でした。しかし、授業を受けていくうちに勉強のペースがつかめるようになりました。試験前は、休み時間や放課後、通学時間を利用し効率よく勉強することで子供と過ごす時間ももっています。



Bさんの1日の生活



私は会社勤めを経験して入学しました。本校では新入生歓迎会や親睦会、スポーツ大会、長期休み前の大掃除など学校行事が多く、もう一度青春している感覚で学校生活を楽しく過ごしています。クラス内は幅広い年齢層の仲間があり、看護師を目指して共に日々学習や実習へ励んでいます。



実習病院

- JCHO 東京新宿メディカルセンター
- 実習中も就職してから安心な環境

- 診療科29科、病床数520床の地域密着型総合医療施設。職員数は800人以上で、看護師は400人以上！
 - 病院機能評価で3rdG:Ver.1.1と認定されました！
 - 看護師の6割が卒業生！
 - 多くの医師や看護師が授業を担当！
 - 訪問看護ステーションを併設！
 - 認定看護師が10人以上在籍し、それぞれの分野で活躍しています！
- ※ 認定看護師とは、日本看護協会認定看護師認定審査に合格し、特定分野において熟練した看護技術と知識を有すると認められた看護師のこと。
- JCHOグループ病院が全国に57施設あり、そちらへの就職・転職も可能！

卒業生からのメッセージ



斉藤 知恵美さん
平成 15 年度卒業

看護学校を卒業し、泌尿器・皮膚科の混合病棟に所属となりました。卒業生の先輩が多く、良い環境で沢山のことを学びました。その中で、ストーマケア・褥瘡ケアに興味を持ち、先輩の後押しもあって皮膚・排泄ケア認定看護師の道を歩むことになりました。認定の学校を卒業してからは、外科病棟で多くの症例に関わっています。困難なこともあり日々勉強の毎日ですが、病棟のスタッフと共に楽しく仕事をすることができています。



笠原 美紀さん
平成 22 年度卒業

看護学校を卒業して6年経ちました。学生のころ憧れていた指導者と一緒に働く機会もあり、なんだか不思議な気がしますが、そういう経験ができるのも病院附属の看護学校ならではの良さです。現在私は子育てもしており、仕事と家庭の両立で悩むことも多いですが、看護師長をはじめ多くの方に支えてもらいながら働くことができています。看護師の仕事は好きなので、これからも自分のペースで働き続けていきたいと思っています。



小川 航太さん
平成 24 年度卒業

私は2年ほど社会人経験を経てから看護学校へ入学しました。勉強についていけるだろうかという不安もありましたが、それ以上に学生生活での人間関係に対してとても不安がありました。しかし、社会人経験者がクラス内にたくさんいたことや、同じ目標に向かって勉強を続けるうちに自然と仲間との絆が深くなりました。先生方の熱心な指導もあり、充実した学生生活を送ることができました。これからも、仲間とともに成長していきたいと思っています。



阿部 香穂里さん
平成 26 年度卒業

私は高校卒業後この学校に入学し3年間看護を学びました。1学年40名前後であるためクラスメイト全員が仲良く毎日がとても楽しく充実していて、また年齢も様々で色々な経験談やアドバイスを聞くことができました。実習先の病院は徒歩圏内、卒業生も多く勤めているため安心して実習に臨めることができました。看護師となり一年が経ちますが、今後も自己研鑽を重ね最高の看護を提供できるよう頑張りたいと思います。

アクセス・周辺環境

最寄り駅の飯田橋は、JRと地下鉄有楽町線・東西線・南北線・大江戸線が交差し、どこへ行くにも便利なところにあります。神楽坂通りは、見るにも食べるにも楽しい観光地となっています。



学校 ⇄ 病院が
徒歩5分!!

駅から学校まで
徒歩3分!!



- JR総武線(中央線各駅停車)
飯田橋駅東口 徒歩5分
- 東京メトロ 東西線・有楽町線・南北線
飯田橋駅(B1出口) 徒歩4分
- 都営大江戸線
飯田橋駅(C1出口) 徒歩3分
* 当院に一番近い地下鉄出口「C1」は、都営大江戸線利用の場合のみ便利です。地下鉄で車椅子等でお越しの方は、南武線後楽園駅寄りの改札前にある「地上行きエレベーター」をご利用ください。
- バス
・都営飯田橋駅前←→小滝橋車庫(飯62)昼間だけの運行です。東京新宿メディカルセンター前 下車すぐ
・小滝橋車庫前←→九段下(飯64) 飯田橋 下車 徒歩5分

独立行政法人地域医療機能推進機構

東京新宿メディカルセンター附属看護専門学校

〒162-0824 東京都新宿区揚場町 2-28
TEL 03-3260-6291(代表) FAX 03-3260-8665
<http://shinjuku.jcho.go.jp/kango>